



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

イラン経済 (11月19～20日)

1. サウス・パルス・ガス田からの中国企業従業員引き上げ (19日付イラン・ニュース紙)
中国企業 CNPC は、サウス・パルス・ガス田フェイズ 11 鉱区から従業員を引き上げている。

2. 韓国外交通商部長の発言 (19日付ケイハーン・インターナショナル紙)

11月18日、韓国のキム外交通商部長は、米国主導の制裁にかかわらず、非制裁分野での協力を促進すると述べた。「我々は韓国内の銀行のウォン口座を活用して、コモディティの貿易を行っている」と同部長は述べた。

3. トルコ政府系銀行とイランとの取引 (20日付イラン・ニュース紙)

トルコの銀行調整監視機構 (BDDK) のオズテキン議長は、政府系銀行であるハルク銀行がイランとの取引を規制に従って行っていると述べた。

4. トルコにおけるイラン資本企業の設置数増加 (19日付ケイハーン・インターナショナル紙)

10カ月連続でトルコにおけるイラン資本企業の設置数が増加していると、トルコ商工会議所連合が述べている。10月の外国資本企業の設立数 252 社のうち、15%を占める 37 社がイラン資本であった。現在、トルコにあるイラン資本企業数は、2,140 社に達している。

5. 外貨割当品目の輸入関税削減 (20日付ドンヤーイエ・エグテサード紙、イラン紙)

メフマールネジャード関税局長は、為替センターにおいて外貨割当を受ける品目に関する輸入関税を 40～45%削減すると述べた。また、関税を下げることにより、為替価格を一つの方向に誘導することになると述べた。輸入品目ランク 10 (注: 輸入の必然性がもっと低い品目に位置づけられる) である (完成品の) 自動車であっても、45%の関税削減の恩恵を受けることになる。

6. 中国産蜂蜜輸入による国内業者への影響 (20日付イラン・ニュース紙)

イランは大量の低品質の中国産蜂蜜を輸入しており、国内養蜂業者を圧迫している。中国製品はイラン市場を席卷しているものの、低品質のため、イラン人の間では不人気である。

7. アフマディーネジャード大統領とパキスタン大統領の電話会談（20日付テヘラン・タイムズ紙）

11月18日、アフマディーネジャード大統領とパキスタンのザルダリー大統領が電話会談を行い、両国間の経済協力を強化する方途について議論した。

8. イラン中央銀行総裁の発言（19日付ハムシャフリー紙）

イラン中央銀行のバフマーニー総裁は、為替レートが一本化されるという憶測を否定し、基本物資は公定レート（1米ドル=12,260リヤル）で外貨供給されると強調した。

9. 牛乳価格の値上げ（19日付イラン・ニューズ紙）

政府は牛乳価格の値上げを認めた。本年3月以降、3回目の値上げである。政府は第二次補助金改革を実施していないが、消費財の価格は上昇している。

10. 商工鉱業会議所会頭の発言（19日付ハムシャフリー紙）

商工鉱業会議所会頭は、石油収入の減少に伴い、政府による輸出入の制限は、為替レートの問題を解決することには繋がらないと批判した。

11. 亜鉛および鉛の生産量の上昇（20日付ケイハーン・インターナショナル紙）

イランの最近7カ月（2012年3月～10月）の亜鉛および鉛の生産量は2.1%上昇しており、亜鉛81,300トン、鉛12,000トンに達している。

©本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 公益財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799